

■活動開始年月： 2016 年 6 月

■企業ボランティアの人数(実数)： 約 70 名

■活動の内容：



東京 YWCA は、日本語支援として、日本で学ぶ留学生が日本人ボランティアと日本語で話をする場、『留学生談話室』を 40 年間開室していました。しかし、2020 年 2 月末に新型コロナウイルス感染症拡大の影響で休室を余儀なくされました。そこで、以前から社員がボランティアとして参加しているシスコシステムズ合同会社からの提案により、2020 年 6 月にオンラインによる『留学生談話室』を再開しました。そこでは、決まったテーマにそって話を始めます。その後は自由なおしゃべりをしていく場となります。例えば、学校、趣味、日常生活、健康管理、尊敬する人等、多様に展開しています。時には、日本の季節の行事、文化、慣習を紹介しています。

■活動の成果：

- 学校の授業がオンライン中心となり、学校の先生や友人と会うことができずに孤立している留学生が話をする場をオンラインで提供することができました。
- 新型コロナウイルス感染症拡大の中、オンラインでの実施により、留学生とボランティアが安全に参加できました。
- 一時帰国をして日本に再入国できない留学生が母国から参加でき、地方に在住している留学生も参加できるようになりました。
- 若い社員の方の参加により、留学生が希望している情報(例えば、就職や流行しているもの等)を得ることができました。
- オンラインツールの使用方法について企業ボランティアから講習を受けながら 80 歳代のボランティアも参加できるようになりました。
- 『留学生談話室』に参加していた社員の方が当団体のボランティアと一緒に談話室の運営についても検討し、オンラインで実施しやすいような提案をしてくれました。例えば、あらかじめ参加する留学生にもテーマを伝えたり、画面共有やチャット機能を使い、留学生が見て理解できるようにしました。それにより円滑に活動を進めていくことができます。



■社員の方の主体性や参加のしやすさの工夫、社員の方のアイデア等：

毎月、社内のニュースレターにてこのボランティア活動を紹介して、参加者を募っています。また、この活動に参加することによって社員にとって何が得られるかを周知しました。社員ボランティアのリーダーがこのボランティア活動に積極的に参加することによって、より多くの社員が気軽に参加できるようにしています。

また、社員ボランティアのアイデアで、話すだけではわかりにくいことを画面共有やチャット機能を使って、留学生に理解してもらうようにしました。また、留学生が求めている情報等を『留学生談話室』の開室中に web 上で調べて提供していただいています。